

財 政 事 情

『滋賀県基本構想～変わる滋賀 続く幸せ～』の実現に向けて



令和4年（2022年）5月

滋 賀 県

表紙の写真

①滋賀県政150周年

滋賀県は、明治5年（1872年）9月29日に滋賀県と犬上県が合併し、現在の県域となって成
立しました。令和4年（2022年）9月に滋賀県が誕生してから150年の節目を迎えるにあた
り、県民一人ひとりがこれまでの滋賀の歴史を学んで先人の努力を振り返り、滋賀に一層誇りや愛着
を持つとともに、未来を考える契機とすることを目的として、県政150周年を記念した様々な取組
を進めていきます。

②旧県庁舎と現在の県庁舎（大津市京町四丁目1番1号）

明治21年（1888年）に竣工した旧県庁舎は第3代知事井弘の主導で建設されました。昭和
12年（1937年）に取り壊されるまで、半世紀の間県政の舞台となりました。現在の庁舎は昭和
14年（1939年）に竣工し、平成26年（2014年）には登録有形文化財に登録されました。

は じ め に

県の予算は、県民の皆さんの暮らしに密接にかかわるものであり、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを広く知っていただく必要があることから、財政事情として年2回（5月と11月）、定期的に公表しています。

今回は令和4年度予算の概要、令和3年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況などをお知らせします。